

# 平成27年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

|                 |                     |              |          |      |      |           |     |
|-----------------|---------------------|--------------|----------|------|------|-----------|-----|
| 事業名<br>(個別メニュー) | 「けんせつフェア北陸in金沢2015」 | 事業経緯         | 継続       | 実施体制 | 後援   | 担当所属      | 技術部 |
| 事業名<br>(大項目)    | 調査研究及び研究助成事業        | 分類名<br>(中項目) | 技術開発支援事業 |      | 事業区分 | 技術開発、研究開発 |     |

## 1. 事業目的

本事業は、産・学・官の優れた建設技術を一堂に集め、建設技術者の技術の研鑽・高揚並びに技術情報の交流の場とすることで、建設技術の一層の高度化、広範囲な技術開発の促進を図り、新技術・新工法の積極的な活用促進、建設技術を活かした地域づくりや担い手確保につながる広報を目的に開催する。

## 2. 事業実施体制

### ■主 催：「けんせつフェアin北陸」実行委員会

北陸地方整備局/新潟県/富山県/石川県/新潟市/金沢市/東日本高速道路(株)新潟支社/中日本高速道路(株)金沢支社/(一社)日本建設業連合会北陸支部/(一社)日本道路建設業協会北陸支部/(一社)新潟県建設業協会/(一社)富山県建設業協会/(一社)石川県建設業協会/(一社)日本建設機械施工協会北陸支部/北陸土木コンクリート製品技術協会/(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部/(一社)建設電気技術協会北陸支部/北陸地質調査業協会/(一財)日本建設情報総合センター北陸地方センター/(一社)日本埋立浚渫協会北陸支部/北陸建設リサイクル協会

### ■共 催：北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会(協議会構成:34団体)

### ■協 賛：東日本旅客鉄道(株)上信越工事事務所/北陸電力(株)

### ■後 援：

金沢大学/金沢工業大学/石川工業高等専門学校/石川県立大学/金沢工業高等専門学校/北國新聞社/北陸中日新聞/共同通信社金沢支局/時事通信社金沢支局/朝日新聞金沢総局/毎日新聞北陸総局/読売新聞北陸支社/日本経済新聞社金沢支局/NHK金沢放送局/北陸放送/石川テレビ放送株式会社/テレビ金沢/北陸朝日放送/日刊工業新聞社/(株)北陸工業新聞社/(株)日刊建設通信新聞社北陸支局/産経新聞社/エフエム石川/ラジオかなざわ/(一財)河川情報センター/(一財)先端建設技術センター/(公社)雪センター/(一社)北陸地域づくり協会

## 3. 事業実施概要

### ■開催日時：平成27年10月16日(金)9:30～17:00/10月17日(土)9:00～16:00

### ■開催場所：石川県産業展示館(4号館及び屋外展示場)

### ■開催テーマ：

- ・イベント名称：「けんせつフェア北陸in金沢2015」
- ・サブタイトル：「みて、ふれて、知る 新技術・新工法」
- ・キャッチフレーズ：「次世代へ伝える建設技術」

### ■展示内容・イベントなど：

- ・民間企業の新技術・新工法の紹介展示、建設機械の展示
- ・北陸地方整備局・自治体等の公共公益事業の紹介
- ・学校(大学等)研究機関の新技術・新工法・防災等の紹介展示
- ・出展技術のプレゼンテーション、企業情報コーナー
- ・防災学習体験(地震・降雨)、はたらく車コーナー(除雪車・災害対策車)
- ・無人化施工体験コーナー
- ・企画イベント(けんせつ小町座談会、合同企業セミナー、建設事業動画上映、建設グッズオークション、UAVによる写真撮影・デモ飛行、絵画展)

## 4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

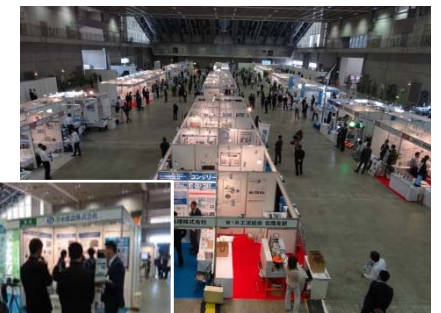
1993年より隔年で開催しており、今回で12回目となる。行政関係者並びに建設技術者の技術力向上、技術研鑽・高揚を図り、技術開発・研究開発の一助となるとともに、新技術・新工法の活用・普及につながることを期待される。また、北陸地方における社会資本整備の現状及び必要性や効果を一般市民に「みて・ふれて・知って」もらい、社会資本整備におけるコスト縮減、環境に配慮した新技術や新工法等について理解を深めていただくこと、現在建設業界の課題である「担い手確保」の一助となるように学生を対象とした企画イベントを実施し、建設事業のイメージアップの絶好の機会を提供できた。

体験学習コーナーでは、地震・降雨の擬似体験を通じて災害の恐ろしさや日頃から災害に備える重要性を再認識した一般来場者が多く見受けられた。「担い手確保」の企画イベントとして、学生を招待し、建設現場で働く女性技術者にスポットを当てた基調講演・パネルディスカッション・ラジオ公開生放送を行い、女性技術者の経験談等の生の声による情報発信を行った。

来場者数は約4,000名と、前回の3,900名を上回る大盛況で、アンケートにおいても約8割が次回以降も開催を望まれている。また、今回の出展社数158は過去最高であり、出展社アンケートにおいて「次回以降も出展を望む」企業が約9割を占め、出展社にとっても有意義な展示会となったことが伺える。



テープカット



屋内展示場



屋外展示場



けんせつ小町座談会